



↑今後の奮闘と自治研成功を誓う
中石執行委員長

広島自治労連 第73回中央委員会開催!



会場に集まり、団結ガンバローを行う参加者

あらゆる取り組みを

「第18回地方自治研究全国集会in広島」の成功に結びつけよう



←組織拡大の取り組みを紹介する木下組織部長

その後の討論で9本の発言があり、単組や補助組織から、欠員問題や施設改善、そして待遇改善に向けた様々な取り組みの現状や成果、関連連絡会

欠員や待遇改善を訴える 仲間たちの声多数

実を求めました。370人の加入目標に向けて更なる取り組みの充実に努めます。

現政権が国民の生活に背を向ける現状の中、広島自治労連が単組とともに、「闘う労働組合」としての役割を果たしている、とアピール。今後も平和、最賃1700円、憲法改悪反対を訴える運動、そして10月に行われる「第18回地方自治研究集会in広島」の成功等、更なる組合運動の発展と拡大を訴えました。

中石執行委員長のあいさつに続き、浜崎書記長が闘争方針を提案しました。

私たちの生活を守るため 戦う労働組合!

6月17日(水)18時45分からロードビルにて、第73回中央委員会をオンライン併用で開催。会場27名、オンラインで22名の参加がありました。

■2026原水爆禁止世界大会 何かひとつ参加しよう■

7/26(日)~8/4(火)国民平和行進 広島県内

8/4(火)世界大会広島 開会総会 14:00~16:30 グリーンアリーナ

8/5(水)世界大会広島 フォーラム・分科会・動く分科会 広島市内

8/5(水)自治体労働者平和のつどい 主催・自治労連 16:00~18:00
グリーンアリーナ剣道場

8/5(水)核兵器なくそう女性のつどい 18:00~19:45 グリーンアリーナ

8/6(木)広島市職員慰霊献花行動 9:00~9:30 広島市役所正面

8/6(木)世界大会広島 ヒロシマデー集会・閉会総会 10:30 グリーンアリーナ

参加については広島自治労連へご連絡ください!

最後は中石執行委員長による団結ガンバローで、今後の奮闘と自治研の成功を誓い、中央委員会を力強く締めくくりました。

からは、「賃金スライド制」の問題についての報告がありました。

Let's G. 自治研



広島でも最賃行動! ハンガーストライキ&宣伝行動を実施!



↑最賃UPを訴え、そごう前で宣伝行動を行う参加者

最低賃金全国一律制への法改正、時間額1700円以上をめざす行動として、6月18日(木)20時~19日(金)正午までハンガーストライキが行われました。

また、19日は8時からそごう前での宣伝行動で最賃UPの必要性を訴え、チラシの入ったティッシュを配布しました。

広島県の最賃は現在1085円です。フルタイムで働いても200万円あまりで、ワーキングプアからは脱せません。誰もが暮らせる賃金を目指し、座り込み行動の参加者で最賃と同額のお弁当を食べ、解散しました。

「中央省庁に皆さんの意見を上げる」と言う。私たちの声はどこに届いているのか」と話しました。

第18回 地方自治研究全国集会in広島 その3

数ある自治研分科会の中から
第10分科会をご紹介します!



第10分科会で、社会教育施設としての公民館の役割と、多面的機能をどう未来につなぐかを議論します。テーマは①社会教育施設としての公民館のあり方、②非正規職員が担う重い役割

と働き方の二本柱です。助言者には、公民館研究と地域の学び・自治のしくみを長年探究してこられた社会教育研究の第一人者・長澤成次さんを迎えます。広島で直接お話を伺える貴重な機会です。岡山・広島・長野からの実践レポートも予定されており、現場のリアルを共有しながら地域づくりの未



集会内容は
2次元コードから

来を考える場となります。公民館の現場に関わる方にも、市民にも学びの多い分科会です。10月の集会でたくさんの方とお会いし、有意義な意見交換ができれば幸いです。

今年も「ネコバス」が注目あびる



網の目
平和行進

6月26日（金）夕方、「第41回網の目平和行進」が行われ、広島市内4か所（稲荷橋西詰、池田銅像前、御幸橋西詰、旧福島生協病院前）からスタートし、平和公園を目指して行進、19時から集結集会を行いました。主催は2026平和行進広島実行委員会でした。

「NO MORE WAR」「NO MORE HIROS HIMA」みんなで一緒に歩きましょう」などとコールしながら、道行く市民に呼びかけました。今年も「ネコバス」が行進！子どもや学生たちが写真を撮るなど、注目を浴びました。集結集会には107人が集い、8月の原水爆禁止世界大会成功へ多くの仲間に参加し、核兵器廃絶へがんばろうと意思統一しました。



集結集会のようす

押し寄せる「戦争国家体制づくり」 学習や行動に参加、「戦争反対」「核兵器廃絶」の声がひろがる NO!

女性部 学習会



呉市長迫「海軍墓地」

6月7日（日）、広島自治労連女性部は、第22回県内の自治体・公共職場にはたらく女性の学習交流会を行いました。今年は、「日本製鉄跡地の軍事拠点化と増強が進む海上自衛隊呉基地」をテーマに行いました。

午前中は呉市つばき会館で、呉地区平和委員会会の森芳郎事務局長のお話を聞き、午後からは「防衛省が一括購入した日鉄呉跡地と増強が進む海上自衛隊呉基地を巡る」ため、フィールドワークを行いました。

フィールドワークは、歴史の見える丘から海上自衛隊呉地方総監部や、戦艦「大和」を建造したドック跡などを見学しました。音戸町の高島台公園からは、日鉄呉跡地などを、アレイからす小島公園では、海上自衛隊の潜水艦などを見学し、海上自衛隊の規模が着々と拡大していること、米軍との一体化を肌で感じました。さらに長迫公園の呉海軍墓地（海軍の軍人埋葬地）、旧澤原邸・三ツ蔵を巡りました。

過去を反省し、未来に向かいたい
過去の歴史のから学び、現実と向き合うこと、声をあげるこの大切さをひしひしと感じる一日になりました。



2026原水爆禁止世界大会プレ企画「被爆の実相を語り継ぐ」
6月14日（日）午後、オンライン併用で開催しました。お話の一人目は河野キヨ美さん（95歳）。原爆投下の翌日、姉を捜しに来て入市被爆されました。河野さんはお姉さんが務める日赤病院に着くまでに「そこら中に死体が転がっていた。病院の外の花壇にはあどけない顔をした中学生の死体が丸太のように放射状に積み重ねられていた。戦争さえなければ、原爆に遭わなければ長い人生があったはずだ」と証言しました。



河野キヨ美さん

日本政府が核兵器禁止条約に背を向け「核の傘」に依存する姿勢を批判し、「戦争や核兵器はダメだと絶えず声にして伝えることが大事だ」と強調されました。お二人目は父親の証言を受け継ぎ、家族伝承者として語り続けた河野さん。被爆者やご家族は、誰一人同じ人生を歩まれていません。今後も「被爆の実相」を聴き、核兵器廃絶を訴えていきます。

単組の定期大会・総会開催

組合員一人ひとりの力を
持ち寄り、行動しよう！

◆広島市児童館労組
6月17日（水）、広島グリーンアリーナにて広島市児童館指導員労働組合第53回定期総会が行われ、67名が参加しました。加山執行委員長は挨拶の中で2025年度の経過を報告し、館長の業務量責任に見合った賃金になることや昇給上限の撤廃など、私たちの仕事に見合った賃金労働条件を求めて引き続き取り組んでいく必要があると訴えました。団結して行動していくことの大切さを改めて感じる定期総会となりました。

◆広島市社会福祉事業団労組
6月29日（金）、節目となる第30回定期大会を県本部会議室からのオンライン併用開催で行い、現地8名、web40名が参加しました。どの職場も日々の業務に奮闘している現状の中、欠員の解消、施設修繕・待遇改善に向け、活動を展開することを確認。今後行われる要求書提出や関連労組連絡会の統一交渉、そして広島で実施される全国自治研の成功に向け、団結して取り組む事を決意する大会となりました。

◆広島市留守家庭子ども会労組
6月24日（水）、グリーンアリーナにて開催。2025年度の活動報告や決算報告、2026年度の運動方針や予算について審議し、すべての議案が承認されました。放課後児童クラブを取り巻く環境は依然として厳しく、利用児童の増加や指導員不足、施設環境の課題などが続いています。子どもたちの安心安全な生活を守るため、組合員一人ひとりの力をもち寄りながら、今年度も進めていくことを誓い合いました。